

「つくばWAN」とは

つくばWAN (Wide Area Network)は、筑波研究学園都市（つくば）の研究機関等を総容量570Gbpsの超高速アクセスリングで結ぶネットワークです。

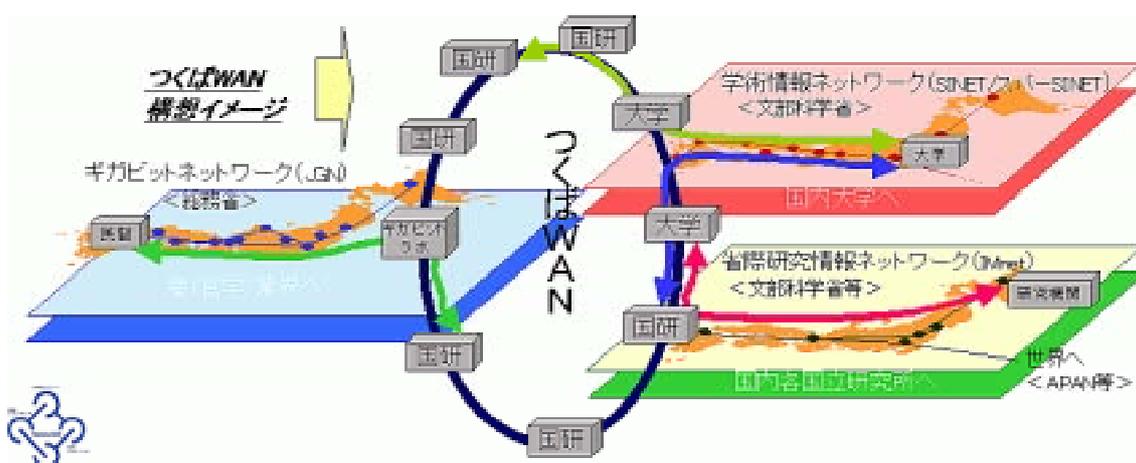
つくばは、世界に誇る科学技術集積都市です。

- ・世界ベスト 500 位以内に9システム存在するスパコン密集地
- ・ポストゲノム、国土・防災、環境分野で大規模シミュレーションプロジェクト
- ・超高速アクセスネットワークの研究開発機関の存在と高い技術ポテンシャル
- ・1ペタバイト/年（1ペタ= 1000兆）を超える科学技術情報の蓄積

これらを活かして、産学官連携、新産業創出などで国内外に成果を発信することが求められています。

つくばWANの構築により、つくば内に点在するスーパーコンピュータ、大規模データベース、高度なシミュレーションソフトウェアを先駆的に活用した共同研究が可能となります。

さらに、民間企業・自治体等のネットワーク参加による産学官連携、全国的ネットワークとの接続を通じた広域連携などによる新産業創出の促進が期待されています。



(平成 14 年 3 月現在)

【つくばWAN接続機関】<本格運用開始段階>

- ・通信・放送機構つくば情報通信研究開発支援センター（総務省）
- ・物質・材料研究機構（文部科学省）
- ・防災科学技術研究所（文部科学省）
- ・研究交流センター（文部科学省）
- ・農林水産技術会議事務局（農林水産省）
- ・産業技術総合研究所（経済産業省）
- ・国土技術政策総合研究所（国土交通省）
- ・国立環境研究所（環境省）
- ・科学技術振興事業団
- ・NTTアクセスサービスシステム研究所

平成 14 年 3 月に、上記の機関がつくば WAN で結ばれます（ ）。これらの機関での共同研究が促進されます。

（ ）接続には、OADM(Optical Add-Drop Multiplexer)装置（光ファイバー中をWDM（波長分割多重）で多重された任意の波長の信号を入出力できる装置）による先進的なネットワーク技術を採用しています。



(平成 14 年 3 月現在)